

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念としている「自分が住みたいホーム・自分の家族を住ませたいホーム」を念頭に置き、ご利用様を家族同然に考え個人個人にあった介護サービスの提供を会議にて検討し実践につなげている。	地域密着型サービスの意義をふまえた上で「自分が住みたいホーム、自分の家族を住ませたいホーム」の理念を掲げ、新人教育の時から職員に周知徹底させられるよう取組んでいる。ホームが自分の家、利用者が自分の家族という思いで日頃のケアに一丸となって努めている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域内の自治会の方へ運営推進会議へ出席して頂き当ホームの運営にご理解ご協力を頂いている。又地域の皆様を対象とした講習会を開催するなど町会主催の夏祭りに利用者様も地域の一員として参加させて頂いている	近隣の団地や保育園にも積極的に交流の働きかけを行い、現在では団地内に30名の「認知症サポーター」が結成された。また、保育園の行事にも参加し、事業所の行事にも招待するなどの交流が活発となり、日常的な交流も行われている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学や入居相談、介護相談等問い合わせにはその内容に応じた適切なアドバイスを支援している又運営推進会議の場において日頃の経験談などを紹介し参考にさせていただいている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通じホームの取り組みや今後の運営方針、開催する行事などを知らせし頂いた意見要望などを参考にし業務に反映している。	団地自治会代表、地域包括支援センター、家族代表、職員等が参加して年3回程度開催している。毎回、ホームの取り組みやインフルエンザ対策、行事などについて意見交換を行い、いろいろな提案や協力を得ている。	運営推進会議は、事業所が地域密着型サービスとしての役割を果たすことを目的に設けられている。概ね2ヶ月に1回以上開催されることが求められており、できるだけこれに則って開催されることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護の申請を控えた一人暮らしのお年寄りの方の相談を、地域包括支援センターの職員と連携を取ったりしている。介護保険課には介護保険者証の更新のお手伝いや運営上の疑問点などについて確認を取るなど日頃から協力関係を築く様になっている。	生活保護申請や介護保険証の更新など、事業所の様々な状況を報告すると同時に、アドバイスをいただくなど、日頃から接触を深め、協力関係を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止マニュアルを活用し職員内部研修を行い身体拘束が無いように職員一同取り組んでいる	身体拘束廃止に関するマニュアルを活用して全職員対象の内部研修を行い、正しい理解を身につけケアにあたるよう努めている。玄関の施錠はせず、チャイムで対応している。	
7		○虐待の防止の徹底			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止マニュアルを活用し職員内部研修を行い虐待が無い様職員一同取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	近々成年後見人制度を利用される方がいます。先ず管理者が成年後見人制度について学び他職員にレクチャーを予定しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約前に重要事項説明書を用いご家族(利用者)に十分な説明を行い理解を得ている。又、解約の際にはその後の転居先への必要な情報提供を行い、転居に支障の無い様援助している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者・ご家族から不満苦情の訴えがあった時は管理者へ報告を共に直ちに職員会議を開き不満苦情に対応する又不満苦情ノートに記録し同じ事の無い様努めている	年3回家族会を開催し、ご家族の意向や要望等を伺う機会を設け、運営に反映させるほか、不満・苦情があった場合の対応を確実に行うための体制を構築している。	月1回利用者の近況報告をご家族に行っているが、ご家族アンケート調査ではさらに情報を欲しいと要望されるご家族もあり、ご家族とのコミュニケーションの内容、頻度、方法について検討され、実践されることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議などで意見交換を行っている。又、必要に応じて個人面談行い不満や要望などを聞き働きやすい環境を整えている	職員アンケートを行い、職員の不満や要望を把握するよう努めているほか、全体会議での意見交換や、必要に応じて個人面談も行い、職員が働きやすい環境を整えるよう取組んでいる。	ご家族アンケートでも指摘があるように、法人内の職員の異動や退職などにより、職員と利用者との関係が途切れないよう対策を立てることが求められる。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務態度を含む利用者様に対する接し方や有資格等を考慮し、本人の仕事に対する理解度を汲み取り、給与待遇に反映している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県・市など主催の研修・講習の開催を知らせ希望者又は必要と思われる職員への参加を促している又3ヶ月に一度当社職員全員参加の内部研修を開催している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホーム連絡会への出席で他事業者との交流を図っている。出席出来ない職員に対しては議事録を閲覧し内容を確認して貰っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に利用希望者と面談し、生活歴やどの様に暮りたいか等出来る限り本人の意向について確認させて頂いている。又、馴染みのある私物を持ち込んで頂いたき、自宅と変わらない様に過ごして頂ける様に配慮している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後の生活面での不安や心配などを持つことの無い様家族の要望を聞き、精神面での不安が無い様説明し、関係作りにも努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の状況を把握し介護、日常生活へのご希望を聞き必要に応じて当社が運営するデイサービスへの利用を含めた最良の方法を視野に入れ相談に応じている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が主体性を持って生活出来るように、炊事、洗濯、掃除等自分で出来る事は、積極的に取り組んで頂いている。又利用者様より色々な事を学び職員の勉強の場にもなっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪されたご家族に対して利用者様の様子連絡事項などをお伝えするのは勿論ケアを行なう上で必要と思われる事に対してご家族に協力を要請しご利用者様にとって良いサービス提供が行なえる様取り組んでいる		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人やご親戚等には電話や手紙による方法でやり取りが出来るように支援をしている。又自宅を見に行く事が出来る方については職員同行にて自宅に行きご近所の方との関係維持に努めている	面会や電話、手紙などで親類、友人、ご家族などと自由にやり取りができるよう支援している。携帯電話を所持する利用者もおり、馴染みの人との関係が途切れないよう努めている。また、自宅を見たい人には、職員が同行し、近所の方々との関係維持も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性格や好き嫌いなどを見極め、必要に応じ、職員が介入する事により言い争いや問題が起こらない様に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後ご家族より要請などあればその都度相談に乗り適切なアドバイスをお知らせしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の様子発言などを24時間シートに記録し思いや体調の変化などを見落とさず本人本位に検討している	「センター方式」の24時間生活変化シート等を用いて利用者の行動やしぐさ、言葉などを記録して利用者の思いや意向の把握に努め、それをケアに反映させるよう取り組んでいる。	シートへの記入方法等については個人差があることが見受けられることから、内部研修等を行い、より利用度の高い記録となることを望みたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や、ご友人などからの聞き取りや持参している私物より情報を引き出し把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シートを素に生活リズムを把握し本人の希望、行ないたいであろう事の推察をその方にあった1日を過ごす事が出来る様努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、入居前の担当ケアマネ、現在の主治医当の意見を聞き介護計画書作成時の参考にしている。又、定期的にケアの内容と、ご本人の状態を把握し、計画の見直し時に参考としている。	「センター方式」のシート等を用いてアセスメントを行い、それを主治医やご家族、職員が共有して介護計画を作成し、24時間生活変化シートなどによるモニタリング結果を活用して本人の状態を把握して計画の見直しに反映させている	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、申し送りノート、出勤時の申し送り、看護師からの指示を素に介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族対応での受診が不可能な時の受診や外出の支援をしたり当社運営の他事業所の行事参加などその時の要望に応じ柔軟に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の祭りへの参加ボランティアの受け入れを積極的に行なっている。避難訓練を通じ消防、町会等の方達との連携を保ち安全に暮らせる事が出来る様支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の往診が隔週で行なわれている家族の要望で往診で無い方は近くの診療所への受診をしている両方共に主治医の適切な診療が出来るような体制を整えている	事業所において協力医療機関の往診や訪問歯科などの治療等も行っているが、本人やご家族の意思で主治医や専門医を希望されるケースがあり、その際には主治医と連携をとり、ケアに反映できるよう努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態や、受診の状況について申し送りノートや受診ファイルを通じ、当ホームの看護師、往診時同行されている協力医療機関の看護師と相談している。又、看護師の指示により健康管理を行なっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には当ホームにおける日常生活が分かる介護サマリーを作成し情報提供を行なっている。又、退院時には医療機関より看護サマリーを受け取りご利用者様の状態の把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を定め家族会にて説明し、同意を得ている。又、看取りの指針は、ホーム独自で定め看取りの開始により、再度看取りの指針について、説明、同意を頂く様にしている。	法人独自に「看取りの指針」を定め、事業所のできる事、できない事などについて家族会の際説明し同意を得ている。重度化や終末期を迎えた際には、主治医、ご家族と連絡を取り合いながらその対応方法を話し合いケアするよう備えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練時に応急手当、初期対応について研修を行い緊急時には実践できるよう取り組んでいる		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	所轄の消防署の協力にて訓練を行い災害時には隣家への避難誘導等の協力をお願いしている又消火器や非常用持ち出し袋の備えをしている	事業所は消防法の対象とする規模を下回っているが、消防署の協力を得て、消防法に則った避難誘導訓練を実施している。また、隣家への避難時の協力要請を行い、非常用持ち出し袋の備えをしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であるご利用者に対し尊敬心を持ち配慮のある声掛けの実践を行なっている又入浴や排泄介助の時はプライバシーを損ねる事の無い様その方に適した介助方法を実践している	利用者の誇りやプライバシーを損ねる声かけをしないよう職員を指導し、徹底させている。入浴や排泄の誘導にあたっては、タイミングや羞恥心などに配慮しながら行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望、意志を尊重し自己決定の出来る環境を整えている自己決定の難しい方は記録物で情報を参考にし幾つかの選択肢を提示し自己決定への支援援助をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間的な拘束を作らず、ご自分のしたい事意思を尊重し本人のペースを優先して安心して過ごす事が出来る様支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定の出来る方は自らの意志にお任せしている。自己決定が難しい方は洗顔更衣身だしなみ等に気をつけ、職員が介助を行っている。その他希望により理美容サービスの支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	召し上がりやすい様に味付けや形態その方にあつた調理方法にて提供している。不定期ではあるが食事会と称し利用者様よりリクエストを取り献立、調理片付けまで一緒に行い普段とは違った工夫をしている	7日間毎に献立を決めているが、食事会の際には利用者のリクエストを聞き献立を決めている。また行事などの際には流しそうめんやバーベキューなども行い、季節や場に合わせた食事を用意している。調理や片付けは利用者と職員で行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分制限のある方は制限を守り実践している。業者による献立を素に高齢者にふさわしいバランスの取れた食事を提供している。午前、午後にお茶の時間を作りそれ以外でも水分補給が可能な体制を整えている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施義歯の不具合については協力医療の訪問歯科にて調整修理をお願いしている又口腔全般の研修を依頼し適切な助言を頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易なオムツの使用は避け、自立排泄が困難な方は排泄チェックを行い排泄パターンの把握を行い、時間での誘導を行っている。	利用者の状態を見ながら排泄の自立に向けて取り組んでいるが、それが難しい利用者には「24時間生活変化シート」などで排泄パターンを把握し、トイレへの誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬に頼らず、食物繊維の豊富な食事、飲み物による便秘防止の工夫をしている。軽い運動などをして体を動かし便秘防止地努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を楽しんでいただける様入浴剤など用いたり季節によって柚子や菖蒲湯など当社が運営するディサービスの大浴場などを利用し楽しんでいただける様工夫をしている	入浴は基本的に週3回となっているが本人の状態や希望に沿って対応している。入浴剤の使用、柚子湯や菖蒲湯、それに近隣の同系列ディサービスの大浴場の利用など、入浴が楽しくなるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠状況の把握に努め、睡眠導入剤によるコントロールに頼らず日中夢中になれることの支援を行っている。又ホーム共用部分に関して自由に使用できる環境を整え休息できる様支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の変更があった場合は薬剤情報を素に職員に周知している。又不明な事柄については薬剤師に確認し指示を仰ぐようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人好みが違うが、個々にあったお手伝い等の提案をさせて頂く様にしている。趣味趣向が同じ方などは歌を歌ったり同じ楽しみごとなどを共有して頂いている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の日用品の買い物や、散歩などの外出に積極的に出かける様に支援している。遠方への外出を希望される場合にはご家族と相談し、本人がいける様に支援している。	散歩には絶好の立地だが、周辺に商店が少ないこともあって、買い物などは職員が車で同行して支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理可能な方については自己管理をお願いしており、使用時には領収書、残金の確認をしている。ホーム預かりの方については使用金額残金を職員2人以上にて確認し管理をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方については電話のやり取りの支援を行なっている。本人の意思決定が困難な方については年賀状や暑中見舞いなどを利用し支援を行なっている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が過ごし易い環境を整えると共に清潔感を保ち居心地の良い空間を心がけている。又、不快感を抱かないような照明や装飾品など家庭的なものを使用している	もともと民家であったところ活用したホームであり、自宅で過ごしているような落ち着きと安心感がある。玄関先や居間には写真等も飾られているが、その他はシックなものが多く、落ち着いた雰囲気にも調和させている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の際の席は決まっているがそれ以外は制限など無く自由に使用できるようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた馴染みのある家具や私物を持ち込んでいただき自宅と変わらない様な環境で過ごす事が出来るようにしている	居室のつくりは部屋ごとに異なっていて、そこに自宅で使用していた馴染みのものを持ち込み、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事に対して職員は手を出しすぎる事の無い様支援すると共にその方の残存機能を活かす事の出来るような支援を行なっている		